

『希望の倫理』
 ユンゲル・モルトマン 著／福嶋 揚 訳
 新教出版社
 本体4000円・四六判・463頁

『希望の神学』から四十六年後に明らかとなった神学的総決算。
 モルトマン神学の中核に位置する変革的終末論の全面展開。現代
 世界を脅かす様々な難問に立ち向かう大綱的な行動指針を導き出
 すとともに、究極的な平和と安息のヴィジョンを提示する。希望
 の地平において行動あるため。



『聖書における食物規定』
 川島 貞雄 著
 教文館
 本体3500円・A5判・311頁

厳格な食物規定が存在するユダヤ教社会。異邦人への伝道の途上、
 イエスは宗教的に動機づけられた禁忌とどう対峙したのか？既存
 の律法を超えて原始キリスト教世界に波及した食に関わる論争を
 概観する貴重な一冊。



今月のおすすめ



教文館ニュース

2017年
 1月10日号
 〒104-0061
 東京都中央区
 銀座4-5-1
 教文館
 キリスト教書部
 TEL 03-
 3561-8448



3F ギャラリーステラよりお知らせ

第5回キリスト教古書市

2017年1月10日(火)～1月16日(月)

大好評古書市待望の第5回が開催されます。
 キリスト教の和書、洋書を中心とした古書市、
 希少価値のある本、探していたあの本、掘り出し物が見つかるかもしれません。
 この機会にぜひご来場ください。



キリスト教書100選フェア

2017年1月25日(水)～2月14日(火)

これだけは読んでおきたいキリスト教書100選のフェアが開催されます。
 「キリスト教についてもっと知りたいが、本がたくさんあり過ぎてどこから読めばいい
 か分からない」
 日々寄せられるそんな声にお応えするために、キリスト教専門の出版社が共同で、版を
 重ねて長年読み継がれてきたお勧めのキリスト教書100冊を厳選しました。

12月のベストセラー TOP 10

- 1 「おいで子どもたち」 日本聖公会 / 斎藤惇夫・田中雅之
- 2 「聖書人物おもしろ図鑑 新約編」 日本基督教団出版局 / 中野実 (監修)
- 3 「日毎の糧 2017」 日本基督教団出版局
- 4 「1分間の黙想 祈りの力」 日本聖書協会 / E・M・バウンズ
- 5 「クリスマス」 日本基督教団出版局 (リトルベル) / ヤン・ピエンコフスキー
- 6 「聖書人物おもしろ図鑑 旧約編」 日本基督教団出版局 / 中野実 (監修)
- 7 「どうぶつたちのクリスマスイブ」 ドン・ボスコ社 / ペニー・マシューズ
- 8 「語りつづけた言葉」 教文館 / 岡崎晃
- 9 「日めくり超訳マザー・テレサ」 PHP 研究所 / 片柳弘史 (編)
- 10 「幸せはあなたの心が決める」 PHP 研究所 / 渡辺和子

Coming Soon! 三好貴子水彩画展

2017年2月18日(土)～2月27日(土)

Fair

- 店内では各種フェアが好評開催中です。
- ・キリシタンフェア
 - ・美術建築フェア
 - ・キリスト教本屋大賞フェア

Twitter

ツイッターにて、おすすめの新刊やコーナー、フェア紹介などを最新情報を随時更新しております。

教文館キリスト教書部 (@kyobun3f)



2017年は宗教改革五百年!

2017年は宗教改革から
500年の年。
教文館では
ルター関連書、ルターグッズ、
また宗教改革についての本を集めた
コーナーを設けております。



プレイモービル
マルティン・ルター
2700円(税込)



待望の邦訳! 来年2月までの特別定価!

通常定価(税抜)

~~18,000円~~



17,000円

(2017年2月28日まで)

- ・ドイツ語圏で活躍する聖書神学の精鋭十五名による第一級の内容。
- ・宗教史、社会史、文献学、図像学、釈義など各分野の最新の知見をふまえた情報。
- ・中心的主題を概説する大項目十二項目と、網羅的な小項目二百項目で構成。
- ・前聖書的な構想が考慮された記述。外典、死海写本、古典文学など多方面からも解説。
- ・聖書の時代背景の理解に役立つ図版を多数収録。

エキメニカルで信頼のおける、最新の世界水準!
旧新約聖書全体を貫く最も基本的な概念や主題を
カトリック、プロテスタントの両学者陣が解説した
画期的な試み! 聖書学とキリスト教神学を架橋する
「聖書神学」を学び、信仰の源泉として聖書を読み
解くために不可欠な事典。

A5判・658頁・教文館
C・フレイフェル編

『旧約新約聖書神学事典』
A・ベルレユング



配送サービスのご案内

合計金額 10,000円以上お買い上げの
お客様は、日本全国
送料無料でお送りします(1箇所)



新刊案内

『ジョン・ストット日毎の聖書』

ジョン・ストット著 中台孝雄編

本体3200円・四六判・719頁

いのちのことは社

一年五十二週で聖書の全体の概観をつかむ聖書日課。
創世記の天地創造から黙示録の終わりの時まで、教会
暦に基づいて聖書箇所を配列。最も信頼できる聖書教
師の一人と評されたストットが、聖書のエッセンスを簡潔
に解説しつつ、日々の霊的な糧を提供する。

『新約聖書の学び』

越川 弘英著

本体2000円・A5判・305頁

キリスト新聞社

新約聖書の主人公といふべきイエスはキリスト教におい
て決定的位置を占めている。「イエスとは誰か」を解明
することこそ、キリスト教の神学に問われる最優先の
テーマのひとつであり、本書はそうした新約聖書に初
めて接する読者の方への最適の道案内である。

『限らない愛に魅せられて』

遠藤 芳子著

本体1200円・B6判・125頁

いのちのことは社

治療法のない筋肉の病にかかった著者が、専門医も驚く
ほどのいやしの中、神の奇蹟と恵みを感じて生きる日々
をつづった待望の手記第二弾。第二部には、夫を天に送っ
た女性たちの悲しみに神の愛が注がれる、ルツ記からの
メッセージも収録。

『アメリカ映画とキリスト教』

木谷 佳楠著

本体1600円・A5判・209頁

キリスト新聞社

映画を大衆文化へと広めていった担い手は、当時ニー
ヨークやシカゴという東部の大都市で職業選択の自由
が与えられていなかったユダヤ系移民であった。映画と
キリスト教の約120年の関係史。佐藤優氏推薦。